

視察・活動

- 2021年みやぎ生協仙台市議会議員懇談会参加 (1月17日)
- 特定非営利活動法人キミノトナリ代表 東田美香氏の講演「にんしんSOS 仙台の現場から」研修会参加 (1月24日)
- 第3回人生100年時代調査特別委員会「人が繋がるスポーツとエクササイズ」と題して東北大学大学院 医工学研究科長・教授 永富良一氏の講演 (1月25日)
- 「聴覚のフレイル=ヒヤリングフレイル予防の取り組み」と題して、ユニバーサル・サウンドデザイン(株)代表取締役 聴脳科学総合研究所所長 中石真一路氏の聴講・会派視察 (2月14日・オンライン)
- 青葉山エリアのまちづくりの現地視察。音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合整備、仙台城跡整備(大手門復元エリア・城郭らしい景観づくり)、全国都市緑化仙台フェア(令和5年開催)、青葉山公園整備・公園センター(仙臺緑彩館) (2月14日)



- みやぎ東日本大震災津波伝承館・震災遺構門脇小学校の視察 (3月5日・石巻市)

- 東日本大震災仙台市追悼式 (3月11日・若林文化センター)

- 「全ての生命の価値は等しい」という理念を実現するため、貧困問題の解決、感染症の予防・対策などに取り組んでいる「ビル&メリンダ・ゲイツ財団」日本代表 柏倉美保子氏の国際保健(グローバルヘルス)について聴講 (3月14日・オンライン)

- 東北第一号となる泉区七北田公園都市緑化ホール内に設置されているベビーケアルーム「mamaro2」を会派視察。子育てしやすい環境づくりを推進しているKaziプロジェクト(仙台市を拠点に活動する任意団体)の取り組みです。完全個室で授乳・離乳食・おむつ交換が可能。男性も利用可能。三陸道のむすび丸春日パーキングエリアにも設置 (3月15日)



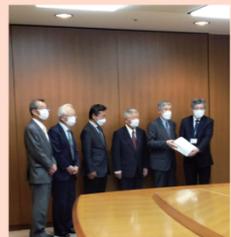
- 仙台市議会タブレット活用フォローアップ研修会参加 (3月22日)

- 旗立緑地(山田北前町)既設法枠調査に関する住民説明会参加 (3月27日)

- 一人ひとりが大事にされる、新たな災害復興法を目指して、「災害ケースマネジメント」について、日本弁護士連合会災害復興支援委員会前委員長 兵庫県弁護士会会長 津久井進氏聴講 (3月29日・オンライン)

「仙台赤十字病院の移転に反対する要望書」提出 (3月11日)

3月11日、太白地域町内会連合会の皆様が郡市長へ署名簿とともに提出。同じく3月25日、村井県知事へ提出しました。仙台市は4回に渡り開催した「仙台市の医療提供体制に関する懇話会」での意見、市議会における議論、市民等から要望などを踏まえ、3月31日、市の考えを県に提出。将来にわたり持続可能な医療提供体制を確保するため、積極的な情報提供に努め、市民や医療関係者などの声に耳を傾け慎重に議論を進めていくよう求めております。



スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report 2022年 春号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245
E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net

一人の声を大切に！100万人の笑顔のために！

この度、3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震では、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。第1回定例会において令和4年度予算を審議する議会質問等の報告として「さとう和子スマイル通信2022年春号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。今議会では、「ロシアによるウクライナの軍事侵攻に対する抗議に関する件」を決議しました。新年度事業には、これまでの議会質問や毎年の予算要望等で長年求めてきた多くのことが予算に盛り込まれました。一日も早い停戦とウクライナの平和を祈り、コロナ感染対策、経済活動の再生、災害対策など市政の課題に全力で取り組んでまいります。

2022年4月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震に関する要望書提出！

3月28日、公明党宮城県本部として村井県知事に緊急要望を行ないました。

1. 激甚災害等の指定
2. 公共インフラ施設・文化財施設の早期復旧
3. 災害救助法の適用にならない一部損壊認定の救済
4. 事業者等の支援

について求めました。3月18日、コロナ禍、地震と度重なる甚大な被害を受けた秋保温泉の宿泊施設の被災状況と復旧への要望を伺いました。



令和4年度から育児ヘルプサービスが拡充！「産後ドゥーラ」のサポートが受けられます！

「産後ドゥーラ」とは、産後間もない母親に寄り添って家事や育児をサポートする民間資格を取得した人です。



2019年9月28日、一般社団法人「ドゥーラ協会」(東京都中野区)を視察。代表理事であり松が丘助産院の宗祥子院長、産後ドゥーラの梁川妙子理事から産後ケアの現状を伺いました。同年10月1日の一般質問で晩婚化・晩産化の傾向や産前産後の母親をサポートする子育て環境の変化、誰にでも起こり得る産後うつや児童虐待防止のため産後ケアの拡充を求めて、「産後ドゥーラ」の民間活用を訴えてきました。

その後、公明党宮城県本部主催「産後ケア研修会」の開催(2019年12月)、仙台市議会子育て環境充実調査特別委員会委員長を務め、有識者の意見聴取としてお二人の講演(2021年4月・オンライン)を聴講し調査を重ね、粘り強く訴えてきました。新年度より、仙台市の委託事業者として「ドゥーラせんだい」が新規参入となりました。今後も利用しやすく、必要な人に届くよう取り組んでまいります。

